



虹色の仲間たち

丹波・播磨路芸術の夢 ニュースレター NO.4

<http://art-farm.jp/>

E-mail sekiguchi@sekinomiya.com

発行日 平成 24 年 8 月 1 日

今年の7月初めから中旬にかけて北海道・東北の美術館や庭園、公園などを見て廻ってきました。



図1、広大な富良野のラベンダー畑。

北海道のヘソと言われほぼ中央に位置する富良野は7月はラベンダー畑が大変美しく壮大でした。自宅の川西市から北海道・東北4,100キロを車で走り、帰途山形県の銀山温泉に宿泊。レトロな建物と谷間のせせらぎに暫し「夢ごち」で此処では時間が2倍も遅く感じました。

今回のこの旅は今後の芸術の夢のプラン作りに大いに参考になりました。



図2、銀山温泉の昔懐かしい建物風景。

バーベキューの炉作りに着手

さて、お山での作業はなかなか思うように進みませんが、ポチポチ作業を行っています。念願のバーベキューの炉の製作では、サイズ等で問題があり作業は遅れています。7月後半ようやく鉄板や網焼きの網のサイズが決まり炉の製作を始めました。



図3、とりあえず耐火煉瓦を積んでみる。



図4、とりあえず煉瓦を裁断する。

炉の完成イメージがなかなかつかめ無いままとりあえず作業を開始。炉の耐火煉瓦を積み上げてから炭や薪をくべる取入り口が無いことに気づきました。炉の完成はまだまだです。

珍しい花や昆虫

今年は春から珍しい花や昆虫を多く見かけました。キノコなども梅雨明けの時期には沢山見ることが出来ます。今号では珍しい昆虫「人面蜘蛛」と「巨大蝸牛」を紹介します。

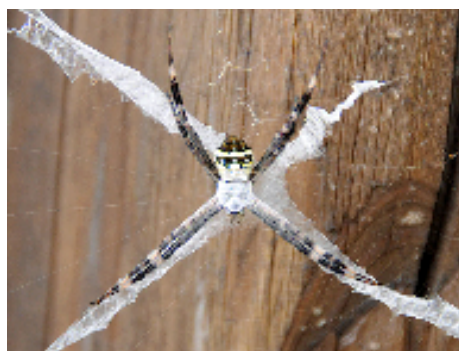


図5、人の顔のような人面蜘蛛。

今年は月見草が大変美しく咲きました。お山の斜面をこの月見草で埋めると面白いかと思います。昔は夏になればどこにでも咲いていたこの月見草も最近ではあまり見かけ無くなりました。しかし、この黄色の月見草は正式には「マツヨイグサ」と言い、本来の月見草は白色だそうです。



図6、朝方みずみずしく美しい月見草。

月見草は子供の頃から好きな花で、夕方、花が咲くのをジーと見守っていると急にパッと咲きます。花が動物のような生き物に見える一瞬です。



図7、全長17cmもある巨大蝸牛。

●お問い合わせ及び連絡先

丹波・播磨路芸術の夢発起人関口之洋
兵庫県川西市大和東2-13-10

創房関宮(有)内 電話 072-791-5158

FAX 072-791-5159

携帯電話 090-4907-9870

携帯メールアドレス

sy-117coupegemy@docomo.ne.jp